

特殊詐欺の予兆事案について

角田市と白石市の事案ですが、近隣市町で発生しているためお知らせします。

3月22日(土)午前11時10分ころ、角田市内のお宅の固定電話機に、警視庁遺失物係を名乗り、自動音声で、「続きが聞きたかったら、0を押してください。」などと、特殊詐欺の予兆電話がかかってきています。

3月24日(月)午前10時45分ころ、角田市内のお宅の固定電話機に、警視庁遺失物係を名乗り、自動音声により「心当たりがあれば、「0」を押してください」などと特殊詐欺の予兆電話がかかってきています。

3月24日(月)、角田市内の複数のお宅の固定電話機に警視庁遺失物係を装い、自動音声等により「心当たりがあれば、0を押してください」「コインロッカーからあなた名義の通帳等が見つかった」などと、特殊詐欺の予兆電話がかかってきたものです。

3月26日(水)、角田市内の複数のお宅の固定電話機にデジタル庁を装い、自動音声等により「〇〇さんですか、下の名前を教えてください」などと、特殊詐欺の予兆電話がかかってきたものです。

3月25日(火)午後4時30分ころ、白石市内に居住の方の携帯電話機に、警視庁捜査二課の警察官を装う男から「大阪であなたが起こした事件についてお聞きしたいことがあります」などと特殊詐欺の予兆電話がかかってきています。

○県内では、警察官や官公署の職員を装った者から、特殊詐欺の予兆電話が架かってきています。

○最近では、実在する警察署等の本物の電話番号を画面に表示させて電話をかけ、詐欺に誘導する手口が急増しています。

○このような電話が架かってきたら詐欺を装い、話の途中でも電話を切って、家族や警察に相談しましょう。